

平成24年度第1回京浜臨海部コンビナート高度化等検討会議 議事要旨

日 時:平成24年7月18日(水)15:00～17:00

会 場:川崎市産業振興会館 11階第6会議室

主な議事内容

1 規約及び会計規定の改正について

- ・構成メンバーの追加、組織名の変更に関する改正案が提案され、これについて了承された。

2 平成23年度の活動報告について(事業報告及び決算)

- ・平成23年度の事業報告、決算・監査報告を行い、これについて了承された。

3 平成24年度監事の選任について

- ・平成24年度会計監事の選出を行い、これについて了承された。

4 ワーキンググループの取組みについて

(1)水素活用ワーキンググループ(東燃ゼネラル石油株式会社)

- ・水素の大量貯蔵・輸送を可能とする技術を有する企業から説明を受けるとともに、意見交換を行ったとの報告があった。

(2)跡地・遊休配管活用ワーキンググループ(昭和シェル石油株式会社)

- ・遊休の土地、配管、その他資産について、各企業から寄せられた情報をマッピング化し共有したこと、昭和シェル石油川崎事業所の視察を行い、跡地利用について質疑を行ったことについて報告があった。

(3)扇町エリアワーキンググループ(昭和電工株式会社)

- ・エリアごとの企業間連携を検討するため、扇町エリアの関連企業が集り、各事業所の取組みを紹介するとともに、操業面・技術面での課題や、周辺交通インフラの課題等について意見交換したとの報告があった。

5 各企業(事業所)の事業展開、将来展望について

- ・今後、各企業(事業所)の事業展開、将来展望について順次報告し、相互理解を深めることで、さらなるコンビナートの連携強化を図っていくこととなった。
- ・東燃ゼネラル石油(株)及び東京ガス(株)から、今後の事業展開、将来展望等について報告があった。

6 国、自治体等からの情報提供

- ・熱の有効利用に向けた取組みについて、資源エネルギー庁から報告があった。
- ・かながわ地球温暖化対策大賞の概要、募集要領等について、神奈川県から報告があった。
- ・コプロダクション技術によるコンビナートのスマート化について、独立行政法人産業技術総合研究所から報告があった。

以上